

# あいち農産物生産流通レポート

平成27年4月号

情報サロン	
・愛知県の食育のポータルサイト ～『食育ネットあいち』をご活用ください～	(食育推進課) ..... 1
地域トピックス	
・西三河生まれのおいしい加工品続々!	(西三河農林水産事務所) ..... 2
東日本情報	
・東京都中央卸売市場におけるブロッコリーの動向	(東京事務所) ..... 3
西日本情報	
・2014年の愛知県農業総合試験場の10大成果	(農業総合試験場) ..... 5
フラワーページ	
・JAおきなわのキク生産と流通について	(JAおきなわ 花卉部) ..... 7
青果	
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	..... 9
・名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し	..... 10
花き	
・切花・鉢花の4月の見通し(県内市場)	..... 22
輸出入	
・主要農林水産物の輸出入実績(2015年1月)	..... 26
関連指数	..... 27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

## 愛知県の食育のポータルサイト

～『食育ネットあいち』をご活用ください～

愛知県では、県民に食の大切さを知ってもらい、食育の実践につなげていただくため、食育の基礎知識から参考事例、食育イベント情報や学習教材など、食に関するさまざまな情報を、食育のポータルサイト『食育ネットあいち』で紹介しています。

## コンテンツ1 ～食育ってなに？～

食育ってなに？なぜ食育？という方に食の大切さや「食育」の意義について、グラフやイラストを交えて分かりやすく紹介しています。

- ・栄養バランス ・地産地消
- ・郷土料理と食文化などあいちの伝承料理レシピも掲載しています。

鬼まんじゅう

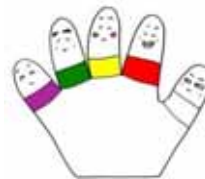


## コンテンツ2 ～食育お役立ち情報～

食育講座や食育体験などの情報、ダウンロードできる食育絵本、パンフレットなど、学校や家庭で楽しく活用できる情報が満載です。

- ・イベント情報 ・パンフレット・絵本
- ・食まるファイブ・食育クイズ

食まるファイブ



## コンテンツ3 ～進めています！あいちの食育～

食育をみんなで進めています。  
県の計画や市町村・企業の取組について紹介しています。

- ・食育プラン・食育レポート
- ・食育サポート企業団など

## コンテンツ4 ～食育コラム～

トップページの食育コラム欄「あったか いい知恵！」では、食育に関するお役立ち情報を週替わりで掲載しています。

県民の皆さんが、楽しんで食に関する知識や関心を深めていただき、食卓で話題にさせていただけるよう、過去のコラムもすべてご覧いただけます。



## アドレス

<http://www.pref.aichi.jp/shokuiiku/shokuikunet/>

食育ネットあいち

検索



コラムのテーマにおすすめの食育情報や食育イベント情報がありましたら、食育推進課（電話：052-954-6396）までぜひお知らせください。

## 西三河生まれのおいしい加工品続々！

温暖な気候と豊かな水源に恵まれた西三河地域は、県内有数の農業地帯です。今回は西三河の農産物の中でも、全国トップクラスの生産量を誇る安城市のイチジクと西尾市の抹茶から生まれたおいしい加工品を紹介します。

### 1 あんじょうハートが送るイチジク加工品

イチジクの大産地である安城市では、イチジク生産者を中心とする女性農業者4名が「あんじょうハート(成瀬早苗代表)」を結成し、加工品の販売などを通して安城産イチジクの積極的な消費拡大に取り組んでいます。

「あんじょうハート」が販売する「いちじくグラッセ」は、安城産のイチジクをワイン、砂糖などと煮詰めた後、煮汁を切って乾燥させ、高齢者でも食べやすいように食感は柔らかく、甘さは控えめに作られています。

同グループが作る「イチジクフルーツソース」とともに、「道の駅デンパーク」や「J A あいち中央ファーマーズマーケットでんまあと安城西部」などで好評発売中です。

メンバーらは、「安城は全国でも有数のイチジク産地です。ぜひ、農家のお母さんの味を楽しんでください」と話しています。



写真は安城ハートの皆さん

### 2 地域団体商標「西尾の抹茶」、ポッカサッポロとコラボ新商品！

全国の抹茶の約20%を産出する西尾市では、平成21年2月に茶関係者が全国初となる抹茶に限定した地域団体商標「西尾の抹茶」を取得しました。

今では定番の抹茶アイスをはじめ、店頭には様々な抹茶食品が並んでいますが、このさきがけとなったのが西尾茶であり、現在でも「西尾の抹茶」のブランドマークを掲げた様々な商品が販売されています。

最近の動きとしては、名古屋に本社を置く「ポッカサッポロフード&ビバレッジ株」とコラボした新商品を開発しました。これまでに、家族と一緒に食べられる介護食デザート「笑顔の時間とろける和風抹茶プリン」、西尾の抹茶のまろやかな味わいを活かした「美味日本 愛知西尾の抹茶 ラテ」を販売し、今年3月からは新たに自動販売機向けの「抹茶ラテ」(写真中央)の販売を開始しました。

西三河の恵まれた気候と、高い技術力、安全・安心へのこだわりで生産される本格的な「西尾の抹茶」をこの「抹茶ラテ」でお手軽に、オシャレにご堪能ください。



「西尾の抹茶」を使った商品

## 東京都中央卸売市場におけるブロッコリーの動向

東京都中央卸売市場におけるブロッコリーの入荷量は愛知県が最も多く、平成26年産では年間5,434 tの入荷がありました。ブロッコリーには、ビタミンCやカロテン等の栄養素が豊富に含まれており、くせがなく緑色が鮮やかなことから、サラダや天ぷら、炒め物等多くの料理に利用されている野菜のひとつです。そこで、今回はブロッコリーに関して、東京都中央卸売市場における入荷状況を報告します。

### 1 愛知県産ブロッコリーの入荷状況

愛知県産（以下愛知）ブロッコリーの東京都中央卸売市場における主な入荷時期は11月から翌年5月でした（図1）。

愛知は、11月から5月までは占有率が10%以上で、入荷ピークとなる3月は48.4%を占めていました。この時期に競合する埼玉は11月と5月にピークを迎え、香川は2、3月にピークを迎えていました。米国は安定した入荷量で、国内産の減る4月から増加していました。

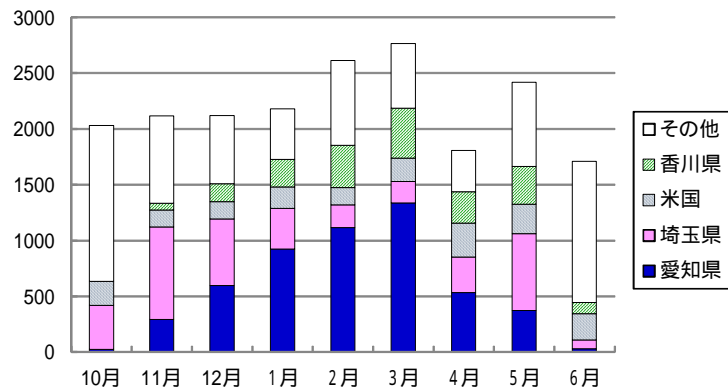


図1 ブロッコリーの月別入荷量 (H25.10～H26.6)

月別入荷量については、図2に示したように本年（H26.10～H27.2）は、10月の台風が気温上昇と適度な降雨をもたらしたことから各産地で生育が進み、11月に大きなピークを迎えました。単価については、11月に大幅に下げましたが、その後は国内産の入荷量が減少したことに加えて米国産の入荷量が少なかったことも起因して、高単価での取引が続いていました。

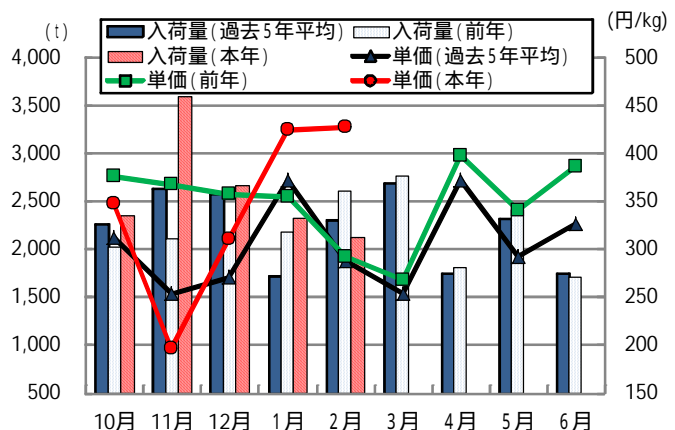


図2 ブロッコリーの月別入荷量と単価

平成26年の東京都中央卸売市場における上位10産地の入荷量と主な入荷時期を表1に示しました。入荷量の第1位は愛知で、総入荷量は5,434 t（占有率20.2%）でした。第2

位は埼玉4,947 t (18.4%)で北海道、米国、香川と続いていました。愛知と競合する産地は埼玉と香川で、夏場は北海道、長野、米国から入荷されていました。

## 2 近年の入荷状況について

表1 平成26年の東京都中央卸売市場におけるブロッコリーの入荷量と主な入荷時期

産地名	入荷量 (t)	占有率	主な入荷時期											
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
愛知	5,434	20.2%	■					■		■				
埼玉	4,947	18.4%	■		■		■		■					
北海道	3,892	14.5%	■						■					
米国	2,366	8.8%	■										■	
香川	2,263	8.4%	■										■	
長野	1,588	5.9%	■					■						
群馬	1,064	4.0%	■										■	
長崎	1,023	3.8%	■					■						
福島	703	2.6%	■					■		■				
栃木	505	1.9%	■										■	

平成20年からのブロッコリー入荷量を主な産地別に示しました(図3)。平成20年を基点としたとき、愛知の伸び率は114%とかなり伸びていました。特に大幅に伸びている産地は、長崎276%(370 t → 1,023 t)、香川265%(854 t → 2,263 t)でした。

長崎では、重要推進品目にブロッコリーが位置づけられており、品目転換などで作付面積が年々増加しています。逆に米国は74%と大きく下げていました。最近の為替変動の影響を受けていると思われました。

ブロッコリーは、収穫後の呼吸量が多く体内養分の消耗が激しいことが知られており、東京から遠い産地は鮮度保持対策が必須となっています。主な対策としては発泡スチロールで出荷、出荷箱内側に包装を利用、氷詰めなどが行われており、JA島原雲仙(長崎県)では入荷開始から終了まで発泡スチロールに氷詰め(写真1)で輸送されていました。冷蔵輸送(コールドチェーン)の取組が向上していることが東京へのお荷量増加につながっていると思われました。

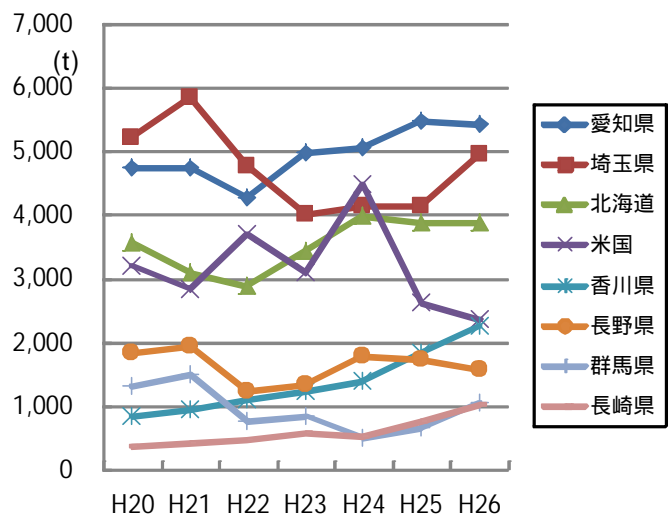


図3 ブロッコリー入荷量の産地別推移



写真1 発泡スチロール+氷詰め

## 2014年の愛知県農業総合試験場の10大成果

農業総合試験場では、農業の発展や農家経営の改善に役立つ新しい品種の開発や高度な栽培技術の開発を行っています。こうした試験研究について、広く県民の皆様に理解を深めていただくため、毎年、農業総合試験場の研究成果の中から、特に優れたものや社会的関心の高いものを10大成果として選定しています。このたび、2014年の「10大成果」を選定しましたので、紹介します。

## 1 2014年の「10大成果」

第1位	水稻高温耐性品種「愛知123号」を開発 - 暑い夏でも品質が安定します -
第2位	カットやスライス用に適した単為結果性トマト新品種「サンドパル* (系統名:試交10-2)」を開発 (*:サンドパルは愛知県が取得した登録商標です。)
第3位	ジネンジョの省力的多収技術を開発 - 地域特産品の安定供給に貢献します -
第4位	堆肥の連用効果を利用した施肥量削減技術を開発 - 環境に優しく収量を確保しながら施肥量を削減 -
第5位	ピンク色のスプレーギク「スプレー愛知秋1号」を開発 - 花色が美しく、低温伸長性の優れた新品種 -
第6位	露地野菜をキサントモナス属病害から守る新規微生物農薬を開発
第7位	イチゴとバラへのCO <sub>2</sub> 長期長時間施用指針を作成 - 収量や品質の向上が期待できます -
第8位	爽やかな黄緑色のスプレーカーネーション「カーネ愛知8号」を開発
第9位	ムギの土壤伝染性ウイルスを迅速・正確に検出できるLAMPマーカーを開発
第10位	巻尺だけで簡単に確認できる和牛子牛の発育指標を作成 - 腹胸比1.2の子牛は優れた発育が期待できます -

## 2 選定方法

## (1) 選定委員

尾久 充弘 中日新聞事業局社会事業部 部長

柴田 智子 公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会  
消費生活アドバイザー

山内 章 名古屋大学大学院生命農学研究科 教授

吉澤 一幸 東海漬物株式会社漬物機能研究所 所長

中西 英人 愛知県農業総合試験場 場長

## (2) 選定の手順

選定委員が「実用性」、「新規性」、「社会性」、「普及性」の観点から各研究成果に5段階で評価点を付け、得点の高い順に10成果を選定しました。

### 3 今年の特徴・傾向

夏季の高温でも障害の発生が少ない水稻、カットやスライスに適したトマトなどの新品種の開発が第1位、第2位に選定されました。生産者、実需者からの要望に沿った特性が評価され、広く普及することが期待されます。ジネンジョの密植栽培技術(第3位)、イチゴ・バラへのCO<sub>2</sub>長期長時間施用技術(第7位)など新しい栽培技術の開発は、収量向上を通じて生産者の所得向上に貢献でき、普及性が期待できることが評価されました。

花色が美しいピンク色の秋系スプレーギク、爽やかな黄緑色のスプレーカーネーションなどの花の新品種の開発が第5位、第8位に選定されました。花色や切り花のボリュームなどの特性が評価され、県内の生産者への普及が期待されます。

ムギの土壌伝染性ウイルスを迅速・正確に検出できるLAMPマーカーの開発(第9位)、巻尺だけで簡単に確認できる和牛子牛の発育指標を作成(第10位)などの成果は、高い実用性が評価されました。

### 4 公表

農業総合試験場のホームページ(<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>)で、10大成果の詳細がご覧いただけます。

## J A おきなわのキク生産と流通について

J A おきなわは平成14年4月に県内27 J A が合併し県単一 J A として発足しました。J A おきなわの主要品目であるキク類の紹介をします。

沖縄県は、温暖な気候を活かして冬春期のキク生産が盛んで、その中でも小菊は日本一の生産量です。

### 県外出荷へのあゆみ

沖縄県の花き園芸は本土復帰（昭和47年5月）を境にこれまでの島内消費向けから県外出荷向の試みが行われました。そのような中、農協系統としては花き取扱を始めた数農協と沖縄経済連で構成する「沖縄県花き生産出荷連絡協議会」を昭和51年に設立し、キクをはじめとする花き類の本格的な県外出荷が開始されました。農協系統の花き類は「おきなわの花」の銘柄で出荷が行われ、出荷を始めて数年で取扱農協も22農協に増え、県内各地で急速に花きの産地化が図られました。

### 露地電照と平張施設

キクの実産は電照栽培が基本ではありますが、沖縄県では露地電照が盛んに行われてきました。復帰後、各産地化が進むなか電照施設の増設で規模拡大できたことは急速に伸びた要因にもなっていると思います。

沖縄県では、夏から秋にかけて毎年のように台風が襲来し、大きな被害をもたらします。そのことは、夏場に定植が行われる

12月出荷などの規模拡大の大きな障壁でした。生産者は台風が来るたびに台風対策に追われ、その対策すら根こそぎやられるほどの被害を受けてきました。そこで、登場したのが沖縄型防災施設、平張施設です。平張施設は周囲と天井をネットで覆い、暴風雨を軽減するものです。これにより、12月の安定生産が行われるようになりました。



電照栽培のようす



## 離島県沖縄の航空輸送

沖縄県は暖かな気候に恵まれている反面、離島県であるため流通面では市場到着に時間を要し、輸送コストがかかるなど大きなハンデを背負っています。輸送手段はいうまでもなく、海を渡るため飛行機と船舶です。また、県外出荷を始めたころは航空輸送だけでした。そのころは本土から多くの物資が沖縄に入ってきて、沖縄からの荷物が少なかったので、キク類を運ぶのに好都合でした。その後、



集出荷場の作業風景

急速に産地化が図られたことにより、生産は飛躍的に伸び、航空定期便だけで運ぶことが難しくなりました。そのため、3月の彼岸の需要期を逃さないために、貨物専用ジャンボ機のチャーター便を昭和58年に始め、現在でも貨物専用機による特別輸送は毎年行っています。

一方、航空輸送はコストが高く、より安価な輸送手段が生産者からも求められてきました。そこで、冷蔵シャーシコンテナを使っての船舶輸送にも取り組んできました。船舶輸送では、真空予冷装置を設置し、すばやくキクの温度を下げ、輸送期間中の鮮度保持に努めています。このように、現在では12月～5月の出荷シーズン中、輸送手段を工夫し計画出荷・計画販売に取り組んでいます。

# 愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

## 名古屋市中央卸売市場（品目：チンゲンサイ）

	入 荷 量 ( t )		卸 売 価 格 ( 円 / kg )		前年の主な他産地 ( 上位 3 産地 )
		うち愛知産		うち愛知産	
26年実績	110	52 (47%)	220	192	静岡 (50%) 愛知 (47%) 茨城 (3%)
27年見通し	110	-	210	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知県産の主な産地は、安城、碧南、豊橋、田原。昨年よりやや気温は低いが例年並みであり、生育は良好。やや大玉傾向にある。</p> <p>入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>愛知以外では、静岡から中心に入荷する。品種等は特に変化はない。4月は給食需要に期待。</p> <p>春先の気温上昇に伴い、しおれ、葉の変色等品質劣化が起こりやすいため、適時出荷と品質管理をお願いしたい。</p>		

## 東京都中央卸売市場（品目：さやえんどう）

	入 荷 量 ( t )		卸 売 価 格 ( 円 / kg )		前年の主な他産地 ( 上位 3 産地 )
		うち愛知産		うち愛知産	
26年実績	223	84 (38%)	966	1,065	愛知 (38%) 長崎 (17%) 熊本 (13%)
27年見通し	210	-	1,000	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>本県産の入荷が4割程度を占め、長崎、熊本、中国(9%)がこれに続く。</p> <p>本県産は作付面積の減少と寒さの影響で2月の入荷量がやや少なかったが、気温上昇を受けて生育は概ね良好で、順調出荷を見込む。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>			<p>さやえんどうは、春のイメージが強い商材のひとつであり、量販店では4月の売り込み商材として力を入れている。</p> <p>本県産の品質は良好なことから、このまま品質を維持し、生産量の確保と安定出荷をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し

名古屋市中央卸売市場

3月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%) (愛知産比率)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	22年	33,496	256	245	261	261	愛知 27%
	23年	35,011	211	233	211	197	北海道 16%
	24年	32,041	232	238	244	221	鹿児島 10%
	25年	36,234	230	220	231	234	徳島 7%
	26年	33,159	210	212	208	206	
	5カ年平均	33,988	228	-	-	-	
	27年見通し	33,900	219	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は地元愛知と土ものの北海道が中心。果菜類は今後気温の上昇と日照時間の増加とともに数が増える見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや上回る見込み。							
だいこん	22年	2,001	121	129	134	106	愛知 43%
	23年	2,311	76	88	82	65	千葉 36%
	24年	1,771	133	197	138	91	鹿児島 9%
	25年	2,373	74	74	71	87	長崎 7%
	26年	2,002	82	78	84	89	
	5カ年平均	2,092	95	109	99	87	
	27年見通し	2,050	85	85	85	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、千葉が中心で次いで鹿児島、長崎。愛知産は4月中旬から下旬にかけてピークを迎える。他産地は低温の影響により出荷の遅れがあるが、下旬は増加してくる見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや上回る見込み。							
にんじん	22年	2,115	181	138	187	218	徳島 95%
	23年	2,351	198	228	206	172	長崎 1%
	24年	1,763	195	183	219	179	熊本 1%
	25年	2,242	163	191	163	137	和歌山 1%
	26年	2,360	133	153	131	119	
	5カ年平均	2,166	173	179	179	163	
	27年見通し	2,200	140	150	140	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
徳島の春にんじんが主体で、4月に全体の7割から7割5分程度出てくる。冬の積雪による生育不良の影響により、出荷量も少なくなるおそれがある。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年をやや上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

3月25日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	22年	122,146	289	279	291	297	千葉 15%
	23年	133,267	210	215	213	204	茨城 14%
	24年	122,775	250	270	249	231	神奈川 8%
	25年	142,680	213	211	211	216	愛知 7%
	26年	136,391	227	222	230	229	(愛知産比率 7%)
	5ヵ年平均	131,452	236	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	135,000	240	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。土物類は北海道が終盤を迎える。定期的な降雨と低温の影響で果菜類、葉茎菜類の入荷が伸びてない。今後の気温上昇と日照量増加での生育回復を見込む。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
だいこん	22年	10,510	120	112	132	118	千葉 76%
	23年	11,781	72	74	78	62	神奈川 10%
	24年	10,404	140	202	141	87	茨城 8%
	25年	12,197	74	71	65	89	鹿児島 3%
	26年	12,582	79	67	78	90	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	11,495	95	102	97	89	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	12,000	84	85	80	87	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、神奈川、茨城からの入荷が中心となる。千葉は一部で降雨のため播種が遅れたが、病害虫の発生もなくその後は生育良好。神奈川は上旬で出荷終了見込み。茨城は5月にピークを迎える。</p> <p>入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
にんじん	22年	7,622	169	129	171	207	徳島 83%
	23年	7,712	188	202	193	171	千葉 5%
	24年	6,538	176	159	192	173	北海道 2%
	25年	8,189	159	179	161	139	青森 2%
	26年	8,650	131	145	127	123	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,742	163	163	167	161	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	8,500	125	130	125	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>徳島、千葉からの入荷が中心となる。徳島は気温上昇と降雨で肥大が進んでおり、中旬ころピークを迎え、順調な出荷が期待できる。千葉は生育良好で終盤を迎える。</p> <p>入荷量は多かった前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							

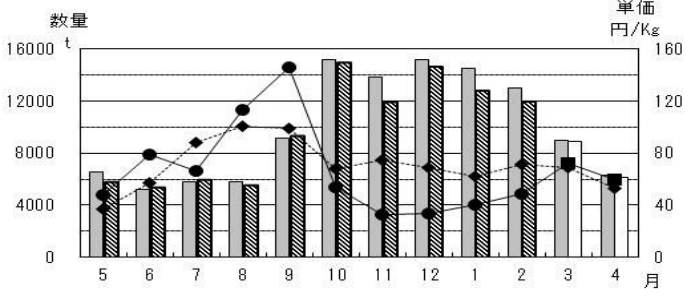
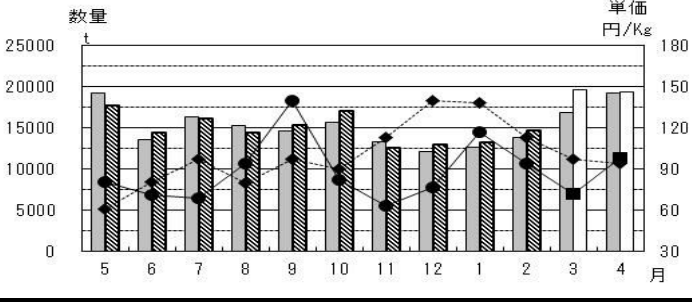
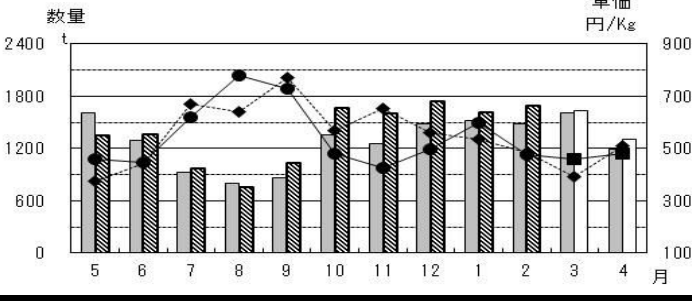
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	22年	2,227	112	111	109	116	茨城 30% 兵庫 16% 長崎 15% 愛知 13%
	23年	1,826	76	108	69	59	
	24年	1,747	98	126	104	68	
	25年	1,802	61	59	54	74	
	26年	2,068	61	64	58	61	
さい	5ヵ年平均	1,934	82	93	79	77	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,700	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、愛知、長崎等から入荷。全体的に作付面積減少の傾向があり、出荷量は平年より少なくなり、価格は高くなる見込み。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
キャベツ	22年	3,371	153	133	184	146	愛知 87% 神奈川 5% 鹿児島 3% 三重 2%
	23年	4,350	75	88	72	68	
	24年	4,244	110	108	115	117	
	25年	4,298	95	88	94	109	
	26年	4,222	78	76	81	80	
べつ	5ヵ年平均	4,097	100	97	106	102	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	4,200	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知からの入荷が中心で、他に神奈川、鹿児島、三重など。愛知の生育遅れは大方回復しており、春系を中心に安定した出荷が見込まれる。神奈川も順調な出荷が見込まれ、4月下旬から5月にかけてピークを迎える。入荷量は前年並みで、価格は安かった前年をわずかに上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	22年	294	536	604	440	579	愛知 67% 岐阜 14% 茨城 8% 静岡 3%
	23年	343	336	407	328	325	
	24年	328	393	467	388	370	
	25年	265	483	395	527	598	
	26年	259	440	309	552	504	
れん	5ヵ年平均	298	432	440	438	465	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	250	466	400	500	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知からの入荷が中心となる。気温と日照時間が落ち着くと、遅れていたものも含めて順調な出回りが期待される。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%) (愛知産比率)			
				上旬	中旬	下旬	
ほうきさい	22年	5,926	116	120	107	122	茨城 80%
	23年	6,700	54	83	52	32	兵庫 13%
	24年	6,052	93	143	80	61	長崎 2%
	25年	6,921	53	61	38	62	群馬 2%
	26年	6,255	53	65	46	48	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,371	73	93	63	64	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	6,100	60	80	50	50	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し				 <p>数量 t 単価 円/kg</p>			
<p>茨城、兵庫からの入荷が中心となる。茨城は2月の降雨で播種の遅れた地域があり、出荷量は中旬からまとまってくる見込み。兵庫は終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
キャベツ	22年	15,377	167	149	192	162	神奈川 47%
	23年	18,876	86	99	82	79	愛知 38%
	24年	16,690	131	142	133	119	千葉 12%
	25年	19,193	107	102	109	110	茨城 1%
	26年	19,117	94	87	103	92	(愛知産比率 38%)
	5ヵ年平均	17,851	115	114	121	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	19,400	98	90	100	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し				 <p>数量 t 単価 円/kg</p>			
<p>神奈川、愛知、千葉からの入荷が中心となる。神奈川、千葉の春キャベツは適度な降雨があり生育良好で順調な出荷が期待できる。愛知は年内の天候不良で根張りが悪く小玉傾向。</p> <p>入荷量は前年並を見込み、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
ほうれんそう	22年	1,319	599	672	491	632	茨城 34%
	23年	1,075	368	414	383	334	群馬 27%
	24年	1,239	413	428	422	385	埼玉 16%
	25年	1,096	551	465	568	642	千葉 13%
	26年	1,193	509	417	639	500	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,184	491	484	501	501	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,300	480	550	450	440	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し				 <p>数量 t 単価 円/kg</p>			
<p>茨城、群馬など関東山地からの入荷が中心となる。主要産地はすべて生育良好で、今後の気温上昇と日照量の増加により順調な出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	22年	894	420	372	407	481	愛知 23%
	23年	880	301	315	301	308	大分 20%
	24年	784	334	341	346	342	鳥取 12%
	25年	789	286	262	304	336	静岡 9%
	26年	708	330	323	339	365	
	5ヵ年平均	811	336	324	340	368	
27年見通し	800	320	300	320	340	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知の長ねぎと、大分、鳥取、静岡の白ねぎが入荷。鳥取の白ねぎは降雪の影響が多少あるものの、全体的には順調な生育で安定した出荷が見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
レタ	22年	1,741	300	308	291	301	兵庫 46%
	23年	1,628	171	214	170	145	茨城 40%
	24年	1,727	214	283	201	178	愛知 5%
	25年	1,649	235	196	245	272	長野 3%
	26年	1,877	189	151	193	228	
	5ヵ年平均	1,724	222	230	220	225	
27年見通し	1,700	200	170	200	230	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>兵庫、茨城の2大産地を中心に入荷。冷え込みの影響で、4月中旬までは出荷が落ち込むものの、下旬以降は回復する見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
きゅうり	22年	1,492	315	299	317	327	愛知 52%
	23年	1,825	181	195	178	195	宮崎 13%
	24年	1,448	244	256	236	254	高知 13%
	25年	1,735	230	255	252	200	群馬 9%
	26年	1,608	248	244	254	254	
	5ヵ年平均	1,622	241	248	245	243	
27年見通し	1,700	250	250	250	250	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知が中心で、宮崎、高地の西南暖地、群馬と続く。気温の上昇と日照時間の増加により、中旬以降各産地とも増加してくる。L、Mの長めのサイズの比率も高くなる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	22年	3,998	362	336	373	379	千葉 42%
	23年	4,021	206	201	197	221	埼玉 28%
	24年	3,754	255	243	268	253	茨城 14%
	25年	4,301	223	228	192	261	群馬 6%
	26年	4,051	243	242	228	258	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,025	257	250	250	274	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	4,100	230	250	220	220		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、埼玉など関東産地からの入荷が中心となる。千葉は降雨で収穫遅れがみられ、太物が多くなる見込み。茨城の生育は概ね良好。埼玉、群馬は一部で葉枯れや病害がみられるが回復基調にある。</p> <p>入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
しそ	22年	6,466	296	296	292	300	茨城 64%
	23年	7,516	133	148	129	124	兵庫 19%
	24年	7,474	209	260	197	173	栃木 5%
	25年	7,411	205	173	205	243	香川 3%
	26年	6,280	163	144	187	212	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,029	200	204	200	208	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	6,100	190	180	200	190		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、兵庫、栃木、香川からの入荷が中心となる。茨城は定期的な降雨で出荷が伸びてないが今後は回復する見込み。兵庫は生育良好で下旬に出荷ピークを迎え、香川は終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅうり	22年	6,546	326	324	334	322	群馬 20%
	23年	7,611	174	172	165	187	埼玉 20%
	24年	6,821	246	259	230	252	千葉 17%
	25年	7,384	262	313	264	217	宮崎 15%
	26年	7,024	282	286	284	278	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,077	256	269	253	249	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	7,200	280	310	270	260		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、埼玉、千葉、宮崎からの入荷が中心となる。群馬、埼玉は施設再建が進み前年を上回る作付け。主要産地の生育は気温上昇と日照量増加で回復傾向にある。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並の見込み。</p>					



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	22年	814	375	372	356	397	熊本 47%
	23年	1,159	251	247	245	270	愛知 47%
	24年	886	317	340	322	294	高知 4%
	25年	867	307	305	318	301	宮崎 2%
	26年	915	296	295	293	299	
	5ヵ年平均	928	305	307	302	308	
す	27年見通し	900	300	320	300	280	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本、愛知からの入荷が中心となる。両産地とも着果、生育ともに良好。気温の上昇とともに出荷量も増加する見込み。入荷量、価格ともに前年並みの見込み。							
マ	22年	1,121	417	436	426	389	熊本 54%
	23年	1,420	274	307	277	254	愛知 23%
	24年	1,112	455	486	451	432	三重 12%
	25年	1,467	360	402	390	307	岐阜 7%
	26年	1,451	333	333	336	331	
	5ヵ年平均	1,314	361	386	370	336	
ト	27年見通し	1,360	350	350	350	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本、愛知、三重、岐阜等から入荷。作型は春。東海地方は安定した出荷が見込まれるが、熊本地方の天候不良の影響により、出荷量が減少する見込み。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							
三	22年	309	733	701	736	763	熊本 59%
	23年	399	533	589	528	466	愛知 31%
	24年	329	752	713	755	778	和歌山 7%
	25年	470	626	677	641	544	
	26年	455	579	582	565	569	
	5ヵ年平均	392	634	647	634	608	
ト	27年見通し	450	610	650	600	580	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本、愛知からの入荷が中心で、若干和歌山からも入荷。学校給食と行楽シーズンにより需要が増加し、荷動きがよくなる見込み。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。							

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	22年	2,797	454	463	432	466	高知 55%
	23年	3,821	310	295	308	327	福岡 21%
	24年	3,315	366	400	350	347	熊本 6%
	25年	3,425	367	366	377	358	佐賀 5%
	26年	3,469	366	348	363	405	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	3,365	368	369	362	376	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	3,400	360	360	360	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、福岡など西南暖地からの入荷が中心となる。各産地とも気温上昇と日照量の増加から生育の回復を見込む。福岡は着花数が増えており出荷量は増える見込み。佐賀は灰色かび病が散見される。</p> <p>入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					
ト マ ト	22年	5,609	467	484	488	434	熊本 28%
	23年	7,580	301	324	307	281	栃木 24%
	24年	5,928	472	502	466	446	愛知 11%
	25年	7,866	375	421	401	317	千葉 6%
	26年	7,623	361	360	366	357	(愛知産比率 11%)
	5ヵ年平均	6,921	387	410	398	359	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	7,600	390	420	390	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、栃木、愛知を中心に関東と西南暖地からの入荷となる。天候不良の影響で主要産地は着色が進んでいなく小玉傾向。今後の気温上昇と日照量増加で生育回復を見込む。栃木は作付け面積が微減。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	22年	1,068	723	684	724	759	熊本 37%
	23年	1,532	475	542	480	430	愛知 23%
	24年	1,239	743	711	758	763	宮崎 14%
	25年	1,918	583	629	617	507	千葉 9%
	26年	1,849	558	573	561	544	(愛知産比率 23%)
	5ヵ年平均	1,521	601	619	614	578	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,800	700	800	700	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、宮崎からの入荷が中心となる。各産地とも天候不良の影響で着色が進んでいない。今後の気温上昇と日照量の増加から生育の回復を見込む。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	518	637	614	601	716	宮崎 41%
	23年	758	322	368	344	300	鹿児島 38%
	24年	656	473	559	446	449	高知 15%
	25年	675	335	328	360	373	茨城 6%
	26年	669	314	315	332	340	
マン	5カ年平均	655	403	426	406	419	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	680	360	400	350	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>宮崎、鹿児島、高知からの入荷が中心。現状天候も良く、今後の気温上昇と日照時間の増加で入荷量は増加する見込み。入荷量は前年並みで、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	22年	2,753	222	200	236	231	鹿児島 82%
	23年	2,633	266	296	296	234	北海道 16%
	24年	2,504	193	174	208	219	長崎 2%
	25年	3,209	115	128	126	101	
	26年	3,022	142	138	142	149	
いしょ	5カ年平均	2,824	184	184	197	182	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,300	250	250	250	250	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>産地は鹿児島の離島物が中心で、それ以後は本土ものとなる。鹿児島産の生育が遅れがちで、例年以下の出荷になり、価格も例年以上の高価格となるおそれがある。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	22年	6,091	104	105	105	103	北海道 46%
	23年	4,871	115	127	119	114	愛知 45%
	24年	4,899	112	112	125	113	静岡 3%
	25年	6,487	72	88	76	70	宮崎 1%
	26年	4,090	134	149	132	122	
ねぎ	5カ年平均	5,288	104	113	108	102	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	6,000	100	100	100	100	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>産地は北海道の貯蔵ものと、新玉ねぎの愛知が中心。生育は順調で、安定した出荷が見込まれる。サイズもM、Lが中心となるが、今後の気温上昇により玉太りも期待される。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピ	22年	1,808	672	669	616	728	茨城 55%
	23年	2,283	310	344	320	273	宮崎 22%
	24年	1,927	479	525	450	462	高知 14%
	25年	2,198	411	391	400	442	鹿児島 8%
	26年	2,353	379	395	364	378	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	2,114	450	465	430	457	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	2,300	410	550	400	400		
マ ン	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	茨城を中心に宮崎、高知などから入荷する。茨城は天候の影響でやや遅れ気味にきたが、4月には安定してくる。宮崎、高知は4月に向け生育は良化しており順調な入荷が見込まれる。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。						
ば れ	22年	8,525	193	171	200	209	鹿児島 56%
	23年	8,485	226	223	244	213	北海道 37%
	24年	8,685	160	147	166	169	長崎 7%
	25年	10,573	101	101	104	96	沖縄 0%
	26年	9,700	133	126	1,285	142	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	9,194	163	154	400	166	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	8,500	160	160	160	155		
い し よ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	鹿児島、北海道を中心に入荷する。主力の鹿児島は肥大期の小雨の影響で玉肥大がよくない。また、掘り取りの遅れの影響がでて出荷量はまとまらない。北海道は終盤だが、順調な入荷。入荷量は前年をかなり下回り、価格は品薄で前年を大幅に上回る見込み。						
た ま	22年	12,118	136	138	133	136	佐賀 50%
	23年	12,027	122	132	128	107	北海道 37%
	24年	11,240	119	118	123	115	中国 4%
	25年	17,027	71	86	70	61	熊本 3%
	26年	13,416	125	144	122	116	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	13,166	115	124	115	107	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	16,000	105	110	105	105		
ね ぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	佐賀、北海道を中心に入荷する。佐賀は、前年並みの作付けで、順調に生育している。北海道は前倒しの出荷が続き下旬に終了となる。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	22年	10,147	306	303	305	311	フィリピン 20%
	23年	9,755	315	318	305	322	青森 20%
	24年	9,542	324	326	328	325	熊本 17%
	25年	8,811	335	358	336	363	愛知 8%
	26年	8,182	365	355	366	369	
	5カ年平均	9,287	327	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	8,200	360	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>国内産は青森、熊本、愛知が中心。品目によって異なるが、全般的には良好な生育で、昨年並みの出荷となる見込み。甲信地方、東北地方では降雪の影響があり、りんご等が若干生育遅れの話もある。 入荷量、価格ともに前年並みの見込み。</p>					
いちご	22年	1,178	726	766	652	762	愛知 57%
	23年	1,324	742	773	690	788	熊本 23%
	24年	1,231	729	708	718	782	佐賀 5%
	25年	1,034	885	864	899	901	鹿児島 5%
	26年	966	862	773	899	953	
	5カ年平均	1,147	782	774	761	830	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,000	880	850	900	900	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本からの入荷が中心となる。3番果が連続して入荷してくるが、やや弱い。4番果も連続してダラダラとした入荷が続く見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
その他メロン (アールスメロンを除く)	22年	335	493	545	530	466	メキシコ 63%
	23年	583	313	270	298	338	熊本 30%
	24年	276	387	322	374	460	鹿児島 4%
	25年	506	291	207	280	374	
	26年	571	272	203	260	289	
	5カ年平均	454	333	286	328	367	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	530	300	250	300	330	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>輸入はメキシコ、国産は熊本からの入荷が中心。4月上中旬は国産は少なく、下旬から入荷が本格化する。ここ数年は安値傾向であるが、若干は持ち直しそう。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
果実計	22年	32,435	337	342	334	336	青森 19%
	23年	31,044	357	359	355	356	熊本 17%
	24年	26,660	386	390	379	389	愛媛 13%
	25年	30,303	361	365	359	360	フィリピン 10%
	26年	28,649	400	397	397	405	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	29,818	367	-	-	-	前年及び本年の
	27年見通し	28,000	400	-	-	-	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
中晩柑、いちご、りんごを中心に入荷する。また、すいかや春メロン、ハウスみかんなどの施設果樹類が入荷してくる。中晩柑はやや前倒し気味での出荷。すいか類は熊本中心でおおむね順調だがやや減る見込み。おうとうは山形中心で着果も良く順調。中旬から増加する。総入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込							
いちご	22年	4,730	773	814	722	780	栃木 36%
	23年	5,521	751	785	704	779	福岡 20%
	24年	5,129	762	733	760	819	茨城 11%
	25年	4,426	893	888	915	870	佐賀 10%
	26年	4,288	913	851	941	969	(愛知産比率 2%)
	5カ年平均	4,819	813	810	800	838	前年及び本年の
	27年見通し	4,500	960	980	950	950	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
栃木中心に福岡、茨城、佐賀など各地から入荷する。どの産地も3月下旬まで、大きなピークもなく落ち着いた入荷が続いていた。4月になってようやく安定した入荷が見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格も販売環境良く前年をやや上回ると見込まれる。							
アンデスメロン	22年	280	562	712	618	503	熊本 90%
	23年	336	493	617	552	454	茨城 10%
	24年	169	589	700	582	547	(愛知産比率 -%)
	25年	251	549	673	612	490	
	26年	219	613	755	672	555	
	5カ年平均	251	553	685	604	502	前年及び本年の
	27年見通し	200	650	750	700	600	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本中心に入荷する、下旬から茨城が加わる。熊本は栽培面積がさらに減少しており出荷量の減少が見込まれる。中旬から増量し、下旬から5月中旬にかけてピークとなる。後続産地の茨城は順調な出荷が見込まれる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回ると見込まれる。							

# 切花・鉢花の4月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 3月29日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実 績	22年	2,346	54	
		23年	1,917	42	
		24年	1,781	61	
		25年	1,813	44	
		26年	1,799	45	
		5ヶ年平均	1,931	49	
	27年見通し	1,800	45		
概要	愛知、三重、沖縄を中心に入荷。平年並みの入荷で、一般需要は鈍く、業務主体の動き。				
小 ぎ く	実 績	22年	1,211	30	
		23年	1,062	35	
		24年	1,249	27	
		25年	1,154	31	
		26年	1,253	24	
		5ヶ年平均	1,186	29	
	27年見通し	1,250	27		
概要	沖縄中心に入荷。年末の返しや植えかえ物の出荷が出始め、中旬にかけ増えてくる。気温上昇により品質の低下が心配される。				
カ ー ネ ー シ ョ ン	実 績	22年	1,974	48	
		23年	1,321	38	
		24年	1,476	38	
		25年	1,189	41	
		26年	1,368	34	
		5ヶ年平均	1,466	40	
	27年見通し	1,400	40		
概要	愛知、長野、和歌山を中心に入荷。今年は厳寒期の冷え込みがきつく、曇天で日照条件が悪かった分1、2月の少なくなったため、4月以降はある程度の数量は出てくると思われる。また、消費では昨年よりもブライダルの需要は増加が見込まれる。				
か す み 草 う	実 績	22年	243	89	
		23年	215	70	
		24年	190	81	
		25年	214	78	
		26年	225	60	
		5ヶ年平均	217	76	
	27年見通し	230	70		
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。入荷は順調で、業務中心の動きの中、母の日需要までは厳しい販売展開が予想される。気温の上昇により品質の低下を注意する必要がある。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	22年	377	194	
		23年	302	181	
		24年	342	171	
		25年	337	186	
		26年	302	162	
	5ヶ年平均		332	180	
	27年見通し		330	180	
概要	高知、埼玉、静岡、岐阜、愛知から入荷。OHは3月出荷が少ない分、4月前半に集中してくる。前半は一般需要も見込めるが、中旬以降は販売に苦しむかも。鉄砲、LAは少なめの入荷。中値での販売となろう。				
洋らん	実績	22年	488	156	
		23年	392	77	
		24年	401	87	
		25年	408	84	
		26年	402	79	
	5ヶ年平均		418	99	
	27年見通し		410	85	
概要	愛知、徳島、静岡、鹿児島等の他輸入物が入荷。低温、日照不足で入荷かが少なかった分、気温の上昇に伴って増加してくると思われる。季節がらブライダル需要に期待したい。				
ばら	実績	22年	1,163	76	
		23年	967	70	
		24年	911	70	
		25年	869	79	
		26年	879	68	
	5ヶ年平均		958	73	
	27年見通し		880	70	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。輸入品の出荷は終盤となるが、国内産は気温も上がり、安定入荷が予想される。昨年は増税の影響を受けたが、5月の母の日に向け、良い流れとなろう。				
枝も	実績	22年	684	63	
		23年	1,742	39	
		24年	1,676	42	
		25年	1,136	45	
		26年	1,607	42	
	5ヶ年平均		1,369	44	
	27年見通し		1,500	44	
概要	長野、静岡、岐阜を中心に入荷。前半は入社、入学式等のイベント需要で大きな枝物や花付物は引き合いが強そうだが、後半はイベントもなく、弱含みの展開となる。				



品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カララ	実績	22年	33,070	515	
		23年	55,189	470	
		24年	38,494	470	
		25年	41,367	406	
		26年	32,250	432	
	5ヶ年平均		40,074	458	
	27年見通し		40,000	400	
概要	<p>入荷量は昨年より増加か。昨年同様に3・5号～4号の小鉢が増加傾向の見込み。中旬以降より5号鉢の出荷も増え始めピークは下旬から来月上旬となる。連日前の4月下旬より相場も安定し、引き合いも強くなると予想される。</p> <p>昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(45.0%)、2位埼玉(25.9%)、3位長野(18.9%)となっている。</p>				
ファレス	実績	22年	60,099	2,399	
		23年	55,625	2,111	
		24年	48,888	2,696	
		25年	47,419	2,767	
		26年	41,605	2,704	
	5ヶ年平均		50,727	2,535	
	27年見通し		47,000	2,700	
概要	<p>入荷量は昨年より増加か。価格面に関しても昨年同等は見込める予想。大輪系は4月上旬にしっかり当て込み、ミディー系は4月上旬と下旬に出荷量を増やすと良い。</p> <p>昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(51.2%)、2位静岡(9.8%)、3位熊本(6.7%)となっている。</p>				
バラ	実績	22年	102,606	295	
		23年	106,039	274	
		24年	89,476	259	
		25年	84,312	246	
		26年	75,733	240	
	5ヶ年平均		91,633	263	
	27年見通し		84,000	230	
概要	<p>2～3月の日照量等、開花の進みが気になる所。順調に行けば入荷量は昨年並みか。毎年のことであるが4月後半にかけて、3～3.5号の寄せポット用が不足する見込み。5～6号の鉢物は比較的安定しそう。4号は人気集中する予想。</p> <p>昨年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(50.0%)、2位愛知(36.1%)、3位愛媛(4.6%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイ ド ラ ジ ン	実 績	22年	182,620	620	
		23年	173,363	636	
		24年	194,219	626	
		25年	199,070	608	
		26年	166,426	688	
	5ヶ年平均		183,140	636	
	27年見通し		170,000	640	
概要	<p>入荷量は昨年より増加。5号@600~1000を中心に引き合いが強くなる見込。品種別に見るとダンス、アメニウタエパなどのガクアジ、チボリ、ババクアなどの複色系が強い。</p> <p>昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(75.6%)、2位群馬(7.7%)、3位栃木(3.0%)となっている。</p>				
ス パ テ イ フ イ ラ ム	実 績	22年	32,431	384	
		23年	30,251	364	
		24年	25,217	436	
		25年	23,626	456	
		26年	28,699	396	
	5ヶ年平均		28,045	407	
	27年見通し		28,000	430	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。母の日の需要で3~4号は引き合いが強くなる。5号以上は花の立数で査定が決まる。</p> <p>昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位三重(47.9%)、2位福岡(17.1%)、3位愛知(13.0%)となっている。</p>				
カ ー ネ ー シ ヨ ン	実 績	22年	134,404	376	
		23年	185,369	328	
		24年	73,779	345	
		25年	75,728	329	
		26年	91,690	397	
	5ヶ年平均		112,194	355	
	27年見通し		95,000	340	
概要	<p>入荷量は例年並みか。ここ数年注文数が減少傾向にある為、競売値が安定せず。単価面での相場は昨年より下がると予想される。</p> <p>昨年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(32.8%)、2位埼玉(23.6%)、3位茨城(8.4%)となっている。</p>				

# 主要農林水産物の輸出入実績(2015年)

## 1 輸入実績

品名	1 月						1 月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	59,288	65.8	7,825,739	82.2	132	124.9	59,288	66	7,825,739	82	132	125
トマト	443	82.6	174,514	79.7	394	96.4	443	83	174,514	80	394	96
たまねぎ	23,395	65.5	1,241,097	61.3	53	93.6	23,395	65	1,241,097	61	53	94
にんにく	1,661	100.2	343,291	128.1	207	127.9	1,661	100	343,291	128	207	128
ねぎ	4,843	108.0	597,325	101.7	123	94.1	4,843	108	597,325	102	123	94
ブロッコリー	1,258	54.5	308,192	67.6	245	124.0	1,258	55	308,192	68	245	124
結球キャベツ	2,310	33.0	94,994	30.3	41	91.6	2,310	33	94,994	30	41	92
にんじん・かぶ	3,627	61.1	192,740	49.8	53	81.4	3,627	61	192,740	50	53	81
ごぼう	3,293	84.4	198,294	51.5	60	61.0	3,293	84	198,294	52	60	61
えんどう	84	116.3	38,682	130.8	461	112.5	84	116	38,682	131	461	112
アスパラガス	793	77.4	744,526	95.5	939	123.4	793	77	744,526	96	939	123
まつたけ	1	-	463	-	463	-	1	-	463	-	463	-
しいたけ	409	88.4	147,889	84.8	362	95.9	409	88	147,889	85	362	96
かぼちゃ	10,234	53.7	1,149,844	73.2	112	136.3	10,234	54	1,149,844	73	112	136
果実(生鮮・乾燥)	102,016	87.8	18,474,858	96.4	181	109.8	102,016	88	18,474,858	96	181	110
バナナ	65,062	95.3	5,747,186	104.7	88	109.8	65,062	95	5,747,186	105	88	110
パイナップル	10,555	112.3	855,469	133.9	81	119.3	10,555	112	855,469	134	81	119
レモン	2,743	61.5	726,176	79.0	265	128.6	2,743	61	726,176	79	265	129
オレンジ	2,203	45.1	376,465	50.1	171	111.1	2,203	45	376,465	50	171	111
グレープフルーツ	5,760	58.3	893,250	68.3	155	117.2	5,760	58	893,250	68	155	117
メロン	1,209	71.3	190,383	96.6	157	135.6	1,209	71	190,383	97	157	136
ぶどう	3,027	111.2	1,067,106	122.5	353	110.3	3,027	111	1,067,106	122	353	110
キウイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
いちご	1	15.9	919	12.2	919	76.4	1	16	919	12	919	76
切花(生鮮・乾燥)	2,820	100.0	2,727,437	105.1	967	105.2	2,820	100	2,727,437	105	967	105
鳥獣肉類	138,762	96.8	76,771,028	111.5	553	115.1	138,762	97	76,771,028	111	553	115
牛肉(くず肉含む)	33,136	98.4	24,696,228	138.7	745	141.0	33,136	98	24,649,171	138	744	141
豚肉(くず肉含む)	53,983	80.9	30,234,723	85.4	560	105.6	53,983	81	30,234,723	85	560	106
鶏肉	43,556	123.3	14,451,329	148.3	332	120.3	43,556	123	14,451,329	148	332	120
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	140,590	96.8	100,391,420	105.6	714	311.6	140,590	97	100,391,420	106	714	312
まぐろ類	16,282	105.8	21,086,007	151.3	1,295	143.0	16,282	106	21,086,007	151	1,295	143
さば・さんま・あじ・いわし	16,521	106.2	3,599,392	101.0	218	91.2	16,521	106	3,599,392	101	218	91

## 2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	9,285	225.1	3,801,696	208.3	409	92.6	9,285	225	3,801,696	29	409	93
うんしゅうみかん	123	79.9	66,184	73.1	538	91.5	123	80	66,184	9	538	91
りんご	8,925	234.1	3,444,645	224.0	386	95.7	8,925	234	3,444,645	40	386	96
なし	57	691.2	29,188	668.7	512	96.7	57	691	29,188	5	512	97
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	501,406	211.3	-	-	-	-	501,406	13	-	-
緑茶	294	120.6	720,554	127.8	2,451	106.0	294	121	720,554	9	2,451	106

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

# 関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 <span style="font-size: small;">(全国 平成22年 = 100)</span> <span style="font-size: x-small;">(愛知県 平成22年 = 100)</span>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	24年平均	99.7	96.1	103.3	99.0	101.4
	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年10月	103.6	101.0	92.5	109.1	114.2
	11月	103.2	90.7	95.1	109.7	113.5
	12月	103.3	95.3	103.8	109.8	117.1
	27年 1月	103.1	107.9	119.6	110.4	117.2
愛 知 県	24年平均	99.7	98.0	105.3	99.1	102.1
	25年平均	102.9	102.3	117.2	101.1	107.9
	26年10月	103.5	104.7	96.2	110.7	115.3
	11月	103.1	98.6	93.8	111.9	114.4
	12月	103.1	100.0	106.0	113.4	116.5
	27年 1月	102.8	111.1	124.1	112.7	116.5

項目 年月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年平均	102.8	112.8	98.7	94.7	107.7
	26年10月	91.1	85.9	82.8	63.0	120.9
	11月	93.3	84.1	78.6	81.8	123.5
	12月	103.5	84.2	108.8	94.1	124.9
	27年 1月	108.6	83.6	119.8	119.7	119.9

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均	2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年平均	2,084	149	182	649	442	299	163	388	231	569	695	162	567
26年10月	1,903	198	195	632	379	333	157	373	259	569	734	161	-
11月	1,906	124	155	592	347	297	130	312	242	617	691	182	446
12月	1,857	135	122	602	496	287	136	338	240	549	645	179	451
27年 1月	1,850	192	146	666	750	317	166	360	247	719	639	191	484
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(バラ)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
24年平均	582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年平均	581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	390
26年10月	527	303	424	-	249	860	542	163	167	325	261	830	446
11月	490	297	436	-	233	816	527	164	172	335	256	878	450
12月	504	372	443	209	243	828	537	180	185	374	248	647	361
27年 1月	633	452	462	196	242	870	537	167	176	357	224	925	488

豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



## いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 502  
平成27年4月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6421